

総務課長 兵頭 章夫 様

林業課長 酒井 淳二

会 議 要 録

名 称	令和5年度第2回西予市次世代森林産業推進協議会	
事 務 局	西予市産業部林業課	
	電 話 0894-62-6493	
	F A X 0894-62-6571	
開 催 日 時	令和5年10月31日(火) 14:00 ~ 16:00	
開 催 場 所	西予市教育保健センター4階大ホール	
出席者	委 員	愛媛大学社会共創学部 准教授 笠松浩樹 他12名
	その他	愛媛森林管理署長、愛媛県八幡浜支局森林林業課、西予市林業活性化センター
	事務局	西予市産業部林業課5名
<p>※読みやすさや分かりやすさを考慮し、発言の趣旨等を損なわない程度に整理しております。</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 令和6年度実施予定事業について</p> <p>【林業課による説明】</p> <p>①林業体験プログラム</p> <p>②再造林・下刈支援</p> <p>③地域おこし協力隊</p> <p>(2) 作業部会の進捗状況について</p> <p>【会長による説明】</p> <p>①作業部会の設置と会議の開催について</p> <p>②伐採・搬出・再造林ガイドライン</p>		

会長	(協議事項) 御意見や感想を1人ずつ順番にお願いしたい。
委員A	今までの協議会議事録を見て、森林環境税の使途がずっと課題として検討されていることや、譲与税の配分は人工林率5割、林業就業者数2割、人口割3割となっていることを知った。それらを考えても森林環境譲与税は森林整備に半分は活用し、人材育成、普及啓発などに効果的な使い方をしてほしい。来年度以降の新規事業についても効果的に活用してほしい。
委員B	令和6年度から森林環境税の徴収が始まるということは、森林環境譲与税の使途が納税者から質問されるようになる。今の協議会は川上、川中までだが、今後は川下側も入るようにする、もしくは考えていく必要があるのではないか。 地域おこし協力隊について気になるのは、1人減ったから1人不足のは分かるが、複数名雇用しても辞めたり、複数名が全て良い人だったりした場合など色々ある。1名雇用はどうかと考えた。
委員C	作業部会でも色々と検討し話し合いを行っている。今日の協議会でよいご意見をいただき、またそれを作業部会で話し合いたい。
委員D	説明にもあった主伐、再造林の支援については、令和6年度から国庫補助事業への上乗せを行うことで支援をいただけている。県としては保育の部分になかなか進まず、その部分に支援いただけることで、再造林推進に期待している。また支援が増えることは担い手の賃金にも充当していけるのではなかろうかと考え、森林環境譲与税が有効に使われていくことと考える。
委員E	林業体験プログラムは愛媛大学農学部生も募集を考えておられるなら、自分の方で紹介もできるので対象の学年や時期の詳細を教えてください。日程の時期などの希望等も聞いていただけるとありがたい。インターンとするのか、将来的な事業計画をどうするのか考えて6年度事業を実施していただければ、見通しを立てて紹介しやすい。

会長	農学部生だけだろうか。社会共創学部もかまわないだろうか。
事務局	幅広く考えているので、また検討する。
委員 F	林業体験プログラム案良いと思うが、市場も求人を行っても集まらない状況であるので、体験メニューの中に市場も入れてほしい。
事務局	体験メニューについてはご相談させていただきたい。
委員 G	市場も原木出荷の安定を考えている。個人的に伐出業も行っているが、ここ 10 年ぐらいだと思うが、間伐主体でやってきたが今後は間伐が減り主伐が増えると思う。主伐が増えれば再生林も増えるが、植林・下刈を地域内労働力で賄っていた昔とは違い、現在は真夏の炎天下のなかでそのような労働を行う担い手がいない。自社の伐出班で保育をしないといけなくなる。これからは特に保育へ重点的に支援していただき、担い手を確保していかないと、立ち行かなくなる。そこを回せば、水車のように循環していくと思う。市場や製材の部分はそこが回れば動いていくので、特に力を入れてほしい。
委員 H	再生林・下刈補助の対象条件が分かりにくいいため説明してほしい。
事務局	森林経営計画を樹立している、もしくは特定間伐等促進計画を樹立している森林というのが国庫補助の申請条件であることがほとんどになっている。市内林業事業体も森林経営計画を樹立し、伐採を進めている。それらに基づき、愛媛県の造林事業を申請したものについて上乘せ支援を考えている。
委員 H	個人の方が申請するときは対象外になるのか。
事務局	条件を満たせば対象に入るが、個人の方対象に市での補助も用意している。
委員 I	自分たちは民間なのでコスト意識が強い。間伐や主伐について、コストがどれだけかかるのか、それらを意識しながら、木材価格も考えながら勉強していく、意見交換してい

	<p>くことが必要。今回の新規政策のような人材育成も大切だが、木材価格がこれぐらいだから、このような計画で伐採していく、コストを考えていくような勉強をしていかなければ政策として続いていくのかと思う。あとにつなげていかない。</p>
副会長	<p>昨日、西予市と株式会社リクルートが雇用促進と移住定住による地域活性化に向け協定を締結し、連携を開始した。これにより、地域内企業の求人発信や採用業務のデジタル化が進み、地域活性化が進むことを目指す。これらもまたよろしくお願ひしたい。</p>
会長	<p>皆様から様々なご意見をいただいた。それらについて今後の協議会や作業部会で検討を重ねていきたい。</p> <p>(3) その他 (特になし)</p> <p>4 報告事項 【林業課による報告】 ①西予市森林環境譲与税ガイドラインについて</p> <p>5 講話 「林業施策の課題解決に向けた全国の取組み等について」 愛媛森林管理署長 藤平 康則様</p> <p>6 その他 7 閉会</p>
備 考	